

日本医師会 企画・広告商品のご案内

3つの医師向けプロモーションツールのご紹介

医師向け情報提供で大切なことは、
発信元の信頼性です。
最も永く、最も多くの先生方に
信頼されている情報誌

今回は特に、
「日本医師会雑誌」
「日本医師会雑誌カラー図説」
「日医ニュース：健康ぷらざ」
をご紹介します。

取扱い代理店：株式会社協和企画

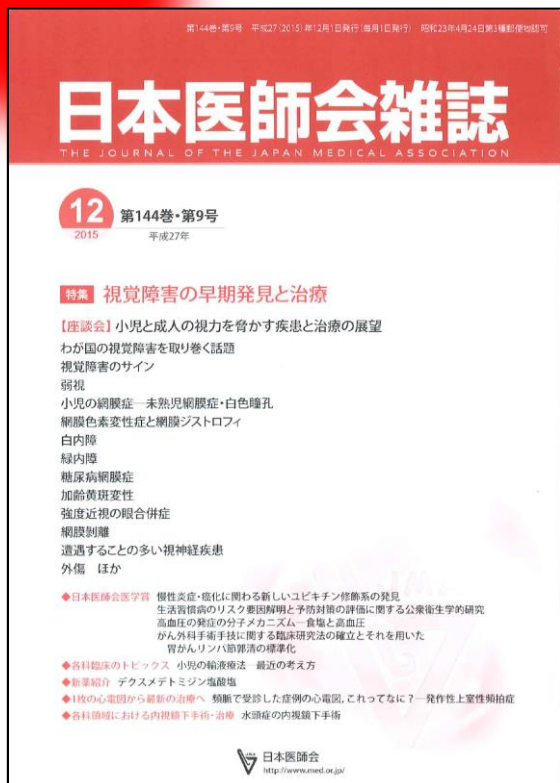


日本医師会発行の 情報提供資料ご紹介

医師向け情報の信頼性が問題となっている昨今、
医師向け医学情報提供の草分け的存在「日本医師会雑誌」
をご紹介します。

医師の生涯教育を目的に発行されている「日本医師会雑誌」ですが、
医師に対する情報提供のあり方が見直されている今、
すべての会員に有用な情報を提供することが使命とも言えます。

日本において最も長く、最も多くの医師に愛読されている
「日本医師会雑誌」は、医師向け情報提供の質を向上させ、
製薬各社をはじめ医療・介護・福祉の関連企業、からの有用な
インフォメーションをすべての医師会会員並びに患者様に行き渡らせる
ため、さまざまな取り組みを行っております。



サイズ：B5判

日本医師会雑誌とは全く目的の異なる、
医師会会員向けの医療政策時事を
提供する「日医ニュース」もご紹介します。



サイズ：B4判

約17万人の会員医師の日常診療を多面的に支える 『日本医師会雑誌』と『日医ニュース』

日本医師会雑誌の特徴

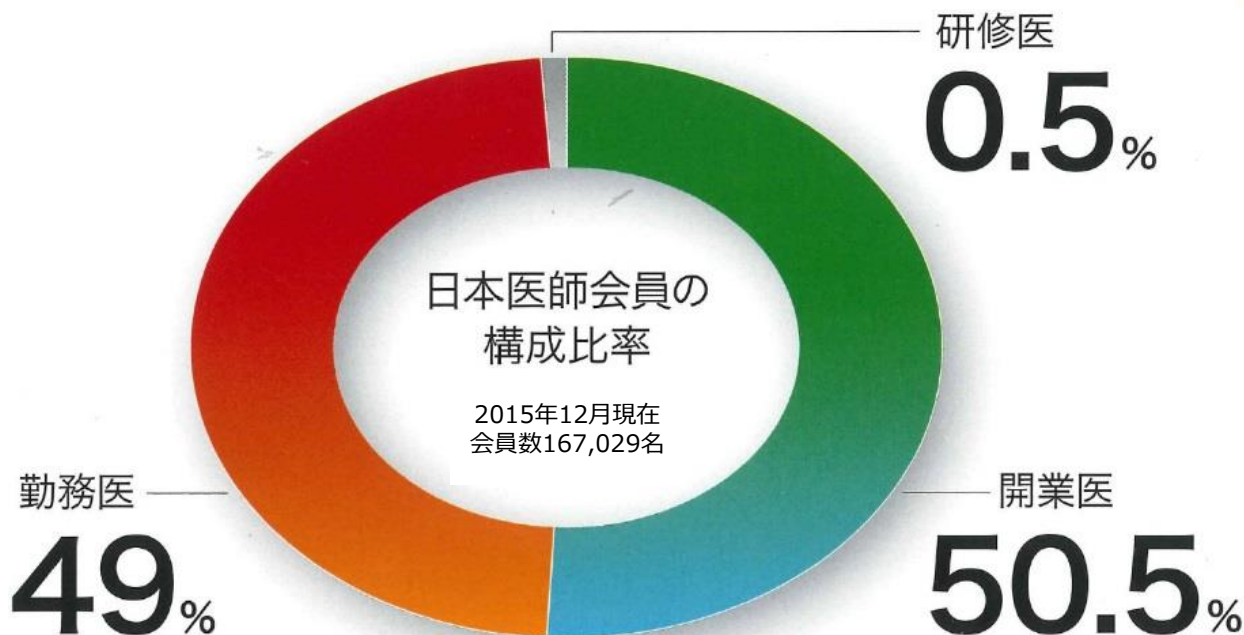
- 日本医師会会員約17万人に配布される、日本最大級の医学総合誌
- 勤務医も開業医にも広く愛読される雑誌
- 毎号、日常診療や話題の学術トピックを選定、専門医やオピニオンによる座談会も掲載

日医ニュースの特徴

- 日本医師会全会員はもとより、報道関係はじめ、国会議員、政府機関、自治体、関係団体に配布
- 医師会の諸活動の情報伝達を主に、社会保険・医薬品の関係通知も網羅。省庁他との報告事項なども掲載

● 日本医師会員の構成

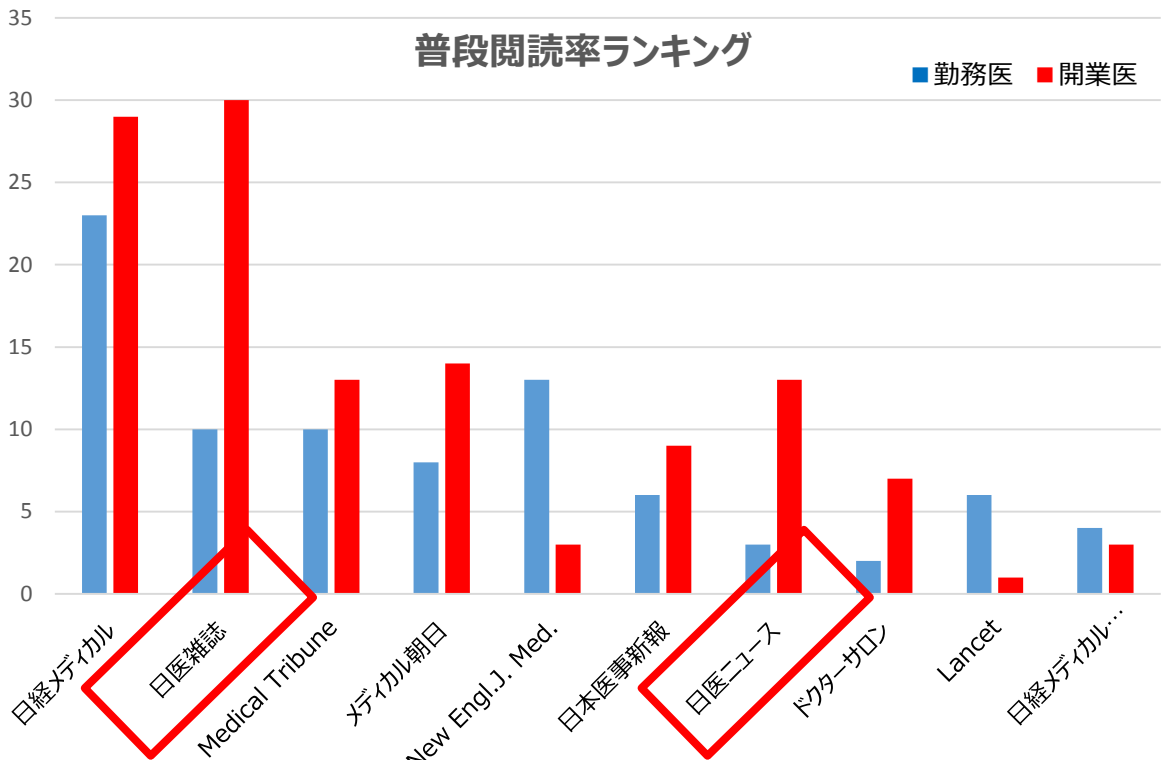
開業医と勤務医ほぼ同数。診療科はほぼ全てを網羅。



日本医師会雑誌の発行部数171,000部（2016年1月現在）
会員のほか、地域医師会、関係官庁、医学部図書館などに直送

商業誌に負けない閲読率！ 医師に信頼の日本医師会ブランド！

● 医師のメディアに対する意識調査



対象：医師1,570名（勤務医950名、開業医620名）

調査方法：首都圏（1都6県）及び関西圏（6府4県）で診療を行う医師にメディア接触状況や活用についてインターネット（SSRI【株式会社 社会情報サービス：S-DMR】にて調査した。）

調査時期：2014年2月～3月実施

日本医師会雑誌は、開業医での閲読率が最も高く、医師が普段閲読している雑誌としても第2位でした。

発行部数の多さからも、医師に広く愛読されている総合学術誌と言えます。

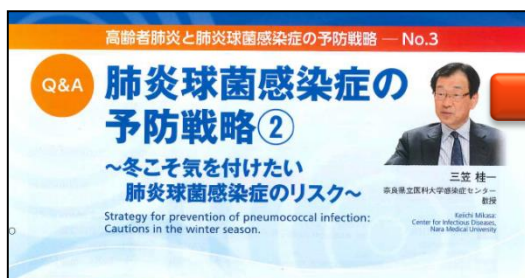
是非、ご出稿をご検討ください。

会員医師の日常診療をアシスト

日本医師会生涯教育協力講座『カラー図説』

- 日本医師会雑誌 カラー図説は生涯教育の一環として、「出稿社」からの新薬情報や話題の疾患などを紹介し、会員医師への学術情報を提供するページです。

● 過去事例紹介



Q&Aインタビュー

座談会



論文/記事
(Drによる執筆)



● カラー図説の特徴

1. 1953年より掲載、2016年で63年目を迎えるロングラン企画
2. 日本医師会の発行物で出稿可能な唯一の学術記事形式
3. 生涯教育講座の一環として、日常診療から知っておきたい新規概念の疾患や治療薬まで、臨床ニーズに応じた学術情報を発信
4. 日本医師会雑誌の企画・編集をする学術企画委員会での応諾が必要であり、信頼性の高い情報提供が可能
5. モノクロ印刷の本文と差別化した、カラー印刷を使用、図を多く取り入れ分かりやすい誌面構成に配慮

誰でも見たことがある！

診察室と待合室を繋ぐ『健康ぷらざ』

- 日本医師会発行 日医ニュースの綴り込みを活用した市民への疾患啓発、および会員医師への情報提供（広告）枠です。

ポスター面：市民向け啓発

広告面：日医会員向け広告枠

毎号綴り込み

【活用事例】

- ・ 企業名（ブランド）訴求
- ・ 製品に関連したテーマ設定*

*日医担当部署、編集委員による審査あり

【活用事例】

- ・ 社名変更告知
- ・ 記事広告（記録集）
- ・ 患者向け冊子告知（MRでカバーできない施設へのアプローチ）
- ・ 純広告（表面のテーマと連動した製品広告）

待合室に掲示

市民への疾患啓発

啓発イメージ

日医ニュース同梱物として会員へ

会員医師へ情報提供

● 健康ぷらざの特徴

1. 1997年より発行、本年計500号を迎えるロングラン企画
2. 待合室で愛用されている市民目線の解説ポスターを利用した、医師向けアプローチ
3. ポスター面は、日本医師会・編集委員承諾のもと、第一線の専門家監修による信頼性の高い情報提供ツール

出稿 料金表①

媒体名		日本医師会雑誌（通常号）*1	
広告種別*2	広告入°-入	広告料金（円）	
綴込広告 （巻末に綴込み）	1点（2頁）	480,000	
カラー図説 （冊子中央に綴込み）	4頁	720,000	
広告体裁	別途、媒体資料ご参照		
「日本医師会雑誌」 学術企画委員会 （敬称略） （平成28年度11月現在）	（50音順） 跡見 裕 杏林大学学長・外科 荒井 陽一 東北大学大学院医学系研究科教授・泌尿器科 五十嵐 隆 国立成育医療研究センター総長・小児科 磯部 光章 東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科主任教授・循環器内科 大曲 貴夫 国立国際医療研究センター国際感染症センター長・感染症科 小川 郁 慶應義塾大学医学部教授・耳鼻咽喉科 片山 一朗 大阪大学大学院医学系研究科教授・皮膚科 北川 泰久 東海大学医学部特任教授・神経内科 黒川 峰夫 東京大学大学院医学系研究科教授・血液・腫瘍内科 佐田 尚宏 自治医科大学医学部教授・附属病院病院長・消化器外科 杉浦 真弓 名古屋市立大学大学院医学研究科教授・産婦人科 高橋 和久 順天堂大学大学院医学研究科教授・呼吸器内科 滝川 一 帝京大学医学部長・主任教授・消化器内科 田中 栄 東京大学大学院医学系研究科教授・附属病院副院長・整形外科 寺崎 浩子 名古屋大学大学院医学系研究科教授・眼科 福田 国彦 東京慈恵会医科大学教授・放射線科 松尾 清一 名古屋大学総長・腎臓内科 三村 将 慶應義塾大学医学部教授・精神・神経科 弓倉 整 弓倉医院院長・内科，循環器内科 横田 裕行 日本医科大学大学院医学研究科教授・救急医学・脳神経外科 横手幸太郎 千葉大学大学院医学研究院教授・内科（代謝内分泌）・老年医学 渡邊 義則 東邦大学医学部教授・心臓血管外科		

*1 日本医師会雑誌には、通常号のほか、別冊、特別号があります。今回は通常号のご紹介です。

*2 広告種別は、表紙周り、目次裏、記事中等もごさいます。こちらの情報は別途、お問合わせください。



協賛 料金表②

媒体名	日医ニュース『健康ぷらざ』
広告料金 (円)	1号につき 2,500,000 ※広告面が記事広告の際は、別途費用が発生する場合があります。
仕様	B4判2ページ、4色刷り
広告サイズ/体裁	ポスター面：天地1.6cm×左右24cm ※一般向け啓発記事のフッターに、社名ロゴ、URLなど掲載可能 広告面（全面広告）：天地34.5cm×左右24cm ※広告は縦版のみ ※日本医師会担当部署での広告審査があります。また、新規出稿企業については別途企業審査があります（但し、OTC医薬品、健康食品は不可）。
編集委員 (50音順、敬称略)	石川 恭三（内科／杏林大学名誉教授） 武谷 雄二（婦人科／アルテミス ウイメンズ ホスピタル理事長） 保科 清（小児科／山王病院小児科上席部長） 守屋 秀繁（整形外科／千葉大学名誉教授） 日本医師会 道永 麻里（皮膚科／日本医師会常任理事）
発行部数	135,000部（日医ニュースへの同梱および関連団体に送付）
発行回数/枠数	偶数月2回（5日、20日）、奇数月1回（5日）発行 年18回
主な協賛社 (直近2年間)	第一三共、大日本住友、ファイザー、参天製薬、佐藤製薬、 第一三共エスファ

【お問合わせ先】 株式会社協和企画 営業本部
担当：黒川幸一

〒105-8320 東京都港区虎ノ門1-10-5
TEL:03-6838-9209 M:080-6816-8160
e-mail: k_kurokawa@kk-kyowa.co.jp